

第2回市立幼稚園・保育所運営検討部会で示された課題一覧に対する評価シート

大分類	小分類	市立幼稚園	市立保育所	市立幼保連携型認定こども園	
		3園	5園	1園	
①地域性	施設配置	北東を除く各地域に1園ずつ ※北東地域はこども園が1号を受入	各地域に1~2か所	北東地域のみ	
	通園区域	あり	なし	なし	
	地域における需給バランス	1号：全域で需要<供給 2・3号（北西・北東）：需要<供給 2・3号（南西・南東）：需要>供給 ※特に南東部において顕著			
②ニーズ	全体の需給バランス	1号：需要<供給 2・3号：需要>供給			
	園児数	1号：減少傾向	2・3号：増加傾向	1号：減少傾向 2・3号：増加傾向	
	長時間保育 （共働き世帯の増）	1号：最長8:30~18:00 ※預かり保育利用	2・3号：最長7:00~19:00 ※延長保育利用 ※最長保育時間は施設による	1号：最長8:45~18:00 ※預かり保育利用 2・3号：最長7:00~19:00 ※延長保育利用	
	就労との関係	フルタイム勤務が困難	退職、転職等により退園	就労状況に関わらず同一施設の継続利用可能 （1号⇔2号切替）	
保育の質	③施設等の 保育環境	老朽化	築40年以上経過	ほとんどの園において築40年以上経過（※第1除く）	築10年未満（H28新築）
		園舎・園庭	児童数に対し園舎・園庭にゆとりあり	児童数に対して園舎・園庭が狭隘	共有スペースにゆとりある設計 保育室に余裕がある
		3歳児保育（※1号部分に係る）	未実施	—	定員確保
		給食	未実施	実施	実施
	④保育内容 や人材確保	集団の規模	集団教育が難しくなっている ※園児数減少による	集団教育の規模を確保	集団教育の規模を確保 ※R6年度から4歳児も混合クラス
		職員の確保	職員確保が難しく一部欠員が発生 園児数が少ないことから配置職員も少なく、園児 数に関係なく必要な業務（行事対応、庶務等）に よる職員の負担が大きい	職員確保が難しく一部欠員が発生	職員確保が難しく一部欠員が発生
		教育・保育内容	4.5歳児の幼児教育	0から5歳児の発達過程を踏まえた教育・保育	幼保の要素を合わせもった認定こども園としての 教育・保育
		職員研修	法定研修あり 施設に研修を受講させる義務あり	法定研修なし 施設に研修を受講させる義務あり	法定研修あり 施設に研修を受講させる義務あり
		小学校との連携	小学校に隣接していること、過去からの経緯によ り連携がとりやすい	小学校への連携は進められている	小学校への連携は進められている
		その他	市の公立施設更新の考え方	公共施設再編基本計画（※）では施設の更新は「複合施設」とするという考え方	
評価		課題への対応が難しい部分がある	課題への対応が一部難しい部分がある	課題への対応に向けて、最も条件を満たしている	

※公共施設再編基本計画では、「施設の再編による保有量の縮減」を取組の柱とし、施設の更新（建替）にあたっては複合施設を検討することとされています。